

## 第 68 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会中国予選会 2日目

会場: 広島県尾道市御調ソフトボール場 C 会場他

会期: 2022/7/2~7/3

第 1 試合 10:03~11:05

帝人(株)岩国事業所	0 0 0	0
環太平洋大学	2 11 2×	15

帝: 白石 — 東

環: 濱渦 — 岩松

本塁打: 奥間②、高草、安藝(以上環)

三塁打: 末田(環)

二塁打: 轉法輪②、高草、岩松(以上環)

戦評(得点経過)

1 回裏、2 死から 3 番大橋が痛烈なレフト前ヒット、これをレフトが後逸し大橋は快速を飛ばしてホームインして 1 点を奪う。続く 4 番轉法輪がセンターオーバーのツーベースヒットで出塁、2 死 2 塁から 5 番奥間 3 球目をライト前にタイムリーヒット、轉法輪が帰り、幸先よく 2 点を先制した。

2 回には 1 死 1 塁から 8 番高草が、2 球目、左中間を深々と破るタイムリーツーベースで 1 点を追加し 3-0。そして、送球が乱れる間に 3 塁まで進塁。9 番末田は 1-1 からレフト前に弾き返して高草がホームを踏み 4-0。

1 番に帰り谷口まがセンター前ヒットで繋ぎ 2 番井上は四球を選び 1 死満塁のチャンス。ここで、3 番大橋がセンター前にタイムリーヒットで 2 者生還して 6-0 と大きくリード。

4 番轉法輪が叩きつけるバッティングでサードの頭を越えるタイムリーツーベースで 7-0。尚も 1 死 2.3 塁で 5 番奥間が 2-2 からセンターバックスクリーンにスリーランホームランを叩き込み 10-0。続く 6 番岩松が 3-1 からセンターオーバーのツーベースヒット。パスボールで 3 塁に進み、7 番山本四球で 1 死 1.3 塁。続く高草が 2-1 から左中間スタンドにスリーランホームランで 13-0。末田が三塁打を放ちホームを狙ったがタッチアウト。

2 死から 1 番谷口まが四球で出塁、2 番井上がセンター前ヒットで 2 死 1.3 塁。後続を絶たれたが 11 点を奪うビッグイニングとなった。

3 回裏、代打安藝が左中間スタンドへソロホームランを叩き込んで 14 点。奥間が初球をセンターバックスクリーンへサヨナラホームラン。3 回規定によりコールドゲーム。

守っては、先発の濱渦が死球でランナーを出したのものその後続を断ち、3 回をノーヒットピッチングで抑えた。